

表現をみがくコース

朗読ワークショップ

講師 フリーアナウンサー・朗読家 渡辺 祥子

声で伝える「朗読」への関心が高まっています。その魅力のひとつは語り手と聞き手の間に共鳴が起こること、それは何よりの喜びとなるのではないのでしょうか。この講座では、共鳴を生み出す大本となる「伝わる朗読」を目指し、基本を大切に実践を行います。



渡辺 祥子(わたなべ しょうこ)

フリーアナウンサー・朗読家。1991年フリーアナウンサーとして独立。アナウンス業と共に、98年より朗読や語りと音楽を融合させた舞台公演を開始。様々な文学作品、詩や童話など幅広いジャンルの朗読、宮城ゆかりの人物や作品にスポットをあてたオリジナル作品の制作にも取り組む。詩画作家・星野富弘氏の作品を朗読したCD『Brilliant Life ～いのちの輝き～』(グローリア・アーツ)、エッセイ集『困難を希望に変える力～ 3.11 10年後のことづて～』(3.11を語りつぐ会)など。現在、情報誌『りらく』編集長も務める。

締切 4/12 金 必着

日程 4/28、5/12、5/19、6/23
6/30

(各日曜日・全5回)

時間 午前の部 10:30 ~ 12:30
午後の部 14:00 ~ 16:00
※午前・午後とも同じ内容です。
(どちらかを明記のうえご応募ください)

定員 午前・午後とも各30人

受講料 1回1,000円

イロハから学ぶ はじめての川柳実作講座

講師 「川柳宮城野」主幹 雫石 隆子

元日から能登では震度七の揺れがあり、十三年前が思い出されました。多難な時代と私達の暮らしを十七音字に記録しましょう！今年も、はじめて川柳を学ぶ方に向けた講座を開設します。川柳の用語や、作り方のコツ、句会の約束事など、川柳のイロハを学んで、実際に作句してみましよう。



雫石 隆子(しずくいし りゅうこ)

川柳作家。85年より「川柳宮城野」に入会。文芸川柳を中心に、社会・世相・時事を扱った作品のほか、東北の方言による創作にも力を入れる。句集に『樹下のまつり』(新葉館出版)。「川柳は人生の詩(うた)」であり、「誰もが気軽に自分の本音や思いを表現できる爽快感・心地良さ」がその魅力と語る。川柳を広く時代に継承したいという思いから、本講座の開催に至った。

締切 8/15 木 必着

日程 9/21、10/26、11/16、12/21
各土曜日・全4回

時間 13:30 ~ 15:00

定員 30人

受講料 1回1,000円

俳句実作講座

講師 「駒草」主宰 西山 睦

俳句の実作と鑑賞をともに学びます。句会は互選形式です。題に従って事前投句した二句の一覧表から好きな句を二句選び、各自読み上げます。その後講師が全句選評をいたします。誰しも自己表現をしたい欲求を持っています。曖昧な思いを十七音の言葉の器にすることで、気がつかなかった自分に出会うことができるでしょう。



西山 睦(にしやま むつみ)

俳人。宮城県多賀城市生まれ。1978年「駒草」入門。以後、阿部みどり女・八木沢高原・蓬田紀枝子に指導を受ける。84年「駒草」同人。91年第36回駒草賞受賞。2003年1月より「駒草」主宰。句集に『埋火』(本阿弥書店)、『火珠』(富士見書房)、『春火桶』(角川書店)がある。12年度宮城県芸術選奨受賞。俳人協会常務理事。令和6年度「NHK俳句」選者。河北俳壇選者。

締切 9/4 水 必着

日程 10/16、11/20、12/18
(各水曜日・全3回)

時間 13:30 ~ 15:00

定員 30人

受講料 1回1,000円

●別途資料郵送料をいただきます。